

## 食品ロス対策について

### 1. 食品ロスとは

食品ロスとは、食べることが出来るのに廃棄されてしまう食品のことです。SDGsのテーマとなっている持続可能な世界を考えるうえで、限りある食材や食品を無駄なく使っていくことは、世界共通の課題になっています。

食品ロスを減らすことは、環境負担の軽減、経済面での生産性の向上にもプラスの効果をもたらします。

### 2. 食品ロスによって引き起こされる問題

#### 食品ロスが環境問題に繋がる理由

食品ロスに伴う食品廃棄のために発生する温室効果ガス排出の影響は環境問題に繋がっています。温室効果ガスは、地球の生態系や気候変動などに影響し環境問題を引き起こしています。

#### 世界の食料問題と日本の食料自給率

現在、世界中の人々が十分に食べられる穀物が生産されています。しかし、世界では約6億9,000万人、11人に1人が飢えていると言われていいます。日本に目を向けてみると、食料自給率はカロリーベースで38%となっており、6割以上を輸入に頼っている現状は大きな課題です。

### 3. 木津川市としての取り組み

木津川市では、食品ロス問題として、「市民提案型ごみ減量活動等補助金」に申請いただいた取り組み及び周辺自治体の取り組みを調査・研究し、市役所内部をはじめ関係団体と協力し対策を検討していきます。

令和3年度は、地域のお店（協力店）と住民（ユーザー）とを食品ロス削減をテーマにつなぐ、フードシェアリングサービス「タベスケ」の導入について検討します。「タベスケ」は、協力店とユーザーがつながる事で、食品廃棄物量の削減や地域活性化・食育の推進につなげることができます。

「タベスケ」を導入することにより、「自治体主導で協力店・ユーザーにとって安心して利用できるサービスであること」・「自治体・協力店・ユーザーの3者で地域の食品ロス課題に取り組むこと」・「自治体が国より推奨されている食品ロス削減の推進運動に積極的に参加すること」の取り組みを推進します。